



2次(地区)予選 筆記試験

見積り部門

注意事項

- ・試験問題は、1次 WEB 試験問題と BPGP 過去問題及び新規問題で構成しています。全国各地での2次予選が終了するまでは、内容についての口外は控えてください。また、問題用紙も持ち帰りはできません。
- ・試験中は、私語や飲食、離席を禁止します。トイレなどやむをえない場合は、監督者に挙手でアピールしてください。
- ・解答は、はっきりした字で解答欄に、英記号または○×で記載してください。読みにくい字は判定しません。
- ・プリントの文字が欠けているなど不明な点があれば、監督者に申し出てください。なお、問題の内容に関する問い合わせには応じられません。
- ・制限時間内に終了した場合は、40分を過ぎれば退室してもかまいません。挙手して監督者にアピール、表紙の氏名の記載を確認の上、速やかに退室してください。
- ・カンニング、携帯電話使用による検索・撮影など、不正・不審な行為を発見した場合は、即退室を促し、筆記試験の獲得ポイントはゼロとします。

制限時間 50分

| | | |
|------------|------------|----------|
| ゼッケン番号 | 氏名 | |
| 見積り | 班 一 | 点 |

主 催

株式会社プロトリオス

日本自動車車体整備協同組合連合会

問1 次の文章で正しいものには○を、間違っているものには×を記入しなさい。

| | 質 問 | 解答欄 |
|----|---|-----|
| 1 | 作業中に予測できない個所に損傷があった場合でも、口頭での説明だけすればいいので写真を撮影する必要はない。 | |
| 2 | ダブルアクションサンダーの特徴は、円形でパッド全体が回転しつつ、偏心回転する2重運動である。 | |
| 3 | 車体に取り付けられるモデルナンバープレートの記載内容は、すべてのカーメーカーで同じである。 | |
| 4 | 自研センターは1973年、脱着・取替指数と補修塗装指数を同時に発表した。 | |
| 5 | 指数における「点検」とは、破損個所、構成部品の機能、部品の状態を目視等で点検することを指す。 | |
| 6 | 指数における「水密テスト」とは、作業完了前に該当する部位に水をかけて水漏れの有無を確認する作業のみを指す。 | |
| 7 | 補修塗装指数における複数塗りは、補修塗装部位が連続している他のパネルと同時に作業を行う場合に適用する。 | |
| 8 | 2000年10月以降の補修塗装指数において、バンパー単体作業の塗り数値は設定されていない。 | |
| 9 | 内板骨格修正指数において、ラジエータサポートの形状修正にはランクAしか設定されていない。 | |
| 10 | 指数テーブルマニュアルの用語説明において、エンジン調整にはアイドリング調整および排気ガス測定が含まれる。 | |
| 11 | モノコックボデーは、フレーム付きボデーと比べ重くなる傾向がある。 | |
| 12 | 補修塗装指数において、取替（新品）パネルの塗り数値には下処理およびシーリングが含まれている。 | |

問2 次の説明文のなかで、正しいものを一つ選び、記号で答えなさい。

13. クレーム対応について、正しいものを選びなさい。

- A. 明らかに修理の品質や作業の内容に問題があれば、心からの謝罪をする。
- B. クレームの内容を把握せずとも対応は可能である。
- C. 「しかし」、「でも」などの言葉を使い、客の主張をとにかく否定する。
- D. クレームが発生するのは当たり前なので、原因は追究しなくてもいい。

| |
|-----|
| 解答欄 |
| |

14. アジャスターに関する記述において、正しいものを選びなさい。

- A. アジャスターは、新車レベルの仕上がりを目指し、修理範囲などを判断する。
- B. 現在の制度では、損害調査会社を退職すると、自動的に技術アジャスター資格は消滅する。
- C. アジャスターは損害調査のプロであるため、工場は指示された修理方法に従う必要がある。
- D. 原状回復という基準に合致するかを判断し調整するのが、アジャスターの仕事の一つである。

| |
|-----|
| 解答欄 |
| |

15. 次の説明文のなかで、正しいものを選びなさい。

- A. 近年の見積りシステムソフトの発達により、見積り担当者の知識と技量はまったく必要でなくなった。
- B. 事故車見積りは、実作業経験がある人よりも経験がない人の方がのみ込みが早い。
- C. 車体修理工場での接客では、安心感を提供することが必要である。
- D. 電話は周囲の音が伝わりにくいので、作業場で電話をとる場合であっても音の出る作業をしながら対応して構わない。

| |
|-----|
| 解答欄 |
| |

16. 接客についての説明文で、正しいものを選びなさい。

- A. 名刺は文字に指がかからないように持ち、相手から読める方向で渡す。
- B. 「尊敬語」、「謙譲語」、「丁寧語」のうち、相手に敬意を表すときに使うのは「謙譲語」である。
- C. 工場に親しみを持っていただくため、あらゆるお客様に対して友人関係のような接客を心がけるべき。
- D. 専門用語を並べて接客しなければ、知識のある一般客は逃げてしまう。

| |
|-----|
| 解答欄 |
| |

17. 自研センターにて設定されている「(M001) 高電圧回路遮断作業」について述べた説明文で、正しいものを選びなさい。

- A. すべてのHV またはEV に対してこの指数を適用させることができる。
- B. 「高電圧作業中」を表示するなど注意喚起を促すための作業は、この指数に含まれる。
- C. (サービプラググリップ) 切り離しなどの駆動用電池からの電流を遮断する作業に至るまでの付属品の脱着は含まれない。
- D. この指数は同「(M265) 駆動用電池脱着」に含まれているため、両作業を計上することは二重計上にあたる。

| |
|-----|
| 解答欄 |
| |

問3 次の説明文のなかで、間違っているものを一つ選び、記号で答えなさい。

18. 衝撃と損傷の関係についての説明文で、間違っているものを選びなさい。

- A. 車がコンクリート壁にぶつかった場合、受圧面積が広いため、損傷程度は電信柱にぶつかるよりは損傷が浅い。
- B. 車が電信柱に正面衝突した場合、集中荷重により、損傷状態はより深くなる。
- C. 正面衝突で、真正面とオフセットでは、条件で左右されるが一般的には、正面の方が損傷が激しい。
- D. 側面衝突で、向心衝突と偏心衝突では、向心衝突よりも偏心衝突の方が損傷は浅くなる。

| |
|-----|
| 解答欄 |
| |

19. 部品についての説明文で、間違っているものを選びなさい。

- A. 優良部品とは、全損車や廃車から使用する部品を外して流通させたものである。
- B. 米国での純正部品の使用率は、日本よりも低い。
- C. リビルド部品は、凹みの修正や機能を回復させた再生部品のことである。
- D. 部品の供給形態は、カーメーカーや車種によっても異なる。

解答欄

20. 車体を構成する素材に関する説明文で、間違っているものを選びなさい。

- A. カーメーカーのボデー修理書では、プラスチック部品使用個所や素材の種類などが掲載されている。
- B. バックドアやフロントフェンダーなどにプラスチック素材が採用されることもある。
- C. プラスチック素材は修理ができないので、損傷があれば必ず交換する。
- D. 損傷機会の多いバンパーは素材のほとんどがPP（ポリプロピレン）である。

解答欄

21. 車体構造に関する説明文で、間違っているものを選びなさい。

- A. モノコックボデーとは、主にアンダーボデーのフレームで外力を受け止めるボデーである。
- B. コンパティビリティとは、自動車同士がぶつかった場合に相手への衝撃を減らそうとする考え方である。
- C. リペアラビリティとは、修理のしやすさであり、修理費用の低減につながる考え方である。
- D. ダメジャビリティとは衝撃を受けたときの壊れやすさであり、設計コンセプトに入れることで修理費用低減につながる。

解答欄

22. 次の説明文のなかで、間違っているものを選びなさい。

- A. 見積書は、修理に必要な部品代や材料費などを明確に記載し、第三者が見ても修理内容が把握しやすいものが好ましい。
- B. 事故車見積りの結果を书面化した見積書は、「部品代」、「技術料」、「工場の利益」、「その他費用」の4つの要素で成り立っている。
- C. 損傷の程度を見るために目視だけでは正確さを欠くので、コンベックスメジャーやトラムゲージがあれば重宝する。
- D. 損傷状態の写真撮影は、見積書と併せて損害調査会社へ送ることで協定のスピードアップや省力化に役立つ。

解答欄

問4 次の文章の（ ）内に当てはまる言葉を下から選び、記号で答えなさい。

1. 加算基礎数値は、塗装面積に関係なく発生する作業〔準備作業、調色作業〕と（ 23 ）に関する作業等〔塗膜加算〕をとりまとめたもので、塗り指数とともに適用します。この数値は、車両区分、塗料の種類、（ 24 ）の種類、塗り指数〔パネル枚数（ 25 ）を設定〕により数値が異なるため、該当する数値を選択し、一作業〔一車両〕につき、一回加算します。
2. 加算基礎数値は、一般塗装用〔（ 26 ）でないもの〕と（ 26 ）用の2種類が設定されており、（ 26 ）の有無により適用する数値が異なるので注意が必要です。

| | | | |
|----|----|----|----|
| 23 | 24 | 25 | 26 |
|----|----|----|----|

- | | | | | |
|------------|----------|----------|-------|-------|
| A. 高機能塗装 | B. 付加数値 | C. ぼかし塗り | D. 塗膜 | E. 顔料 |
| F. 低隠ぺい性塗色 | G. 1枚～5枚 | H. 1枚～3枚 | | |

3. 樹脂バンパーは、（ 27 ）を補修塗装するときに調色した塗料を使用するという前提で設定しているため、調色した外板と異なる色を塗装する場合は、別途注意書きに従って（ 28 ）を加算する必要があります。
樹脂バンパーの塗装は、バンパーを車両（ 29 ）状態で、部分塗装ではなく全面を塗装するという前提で作成されています。
4. 樹脂バンパーの塗装作業は、ブース使用を前提として指数が作成されていますので、別途ブース加算は適用できません。
また、樹脂バンパ補修塗装指数には（ 30 ）は適用されません。

| | | | |
|----|----|----|----|
| 27 | 28 | 29 | 30 |
|----|----|----|----|

- | | | | | |
|---------|---------|---------|-----------|--------------|
| A. 内板 | B. 外板 | C. 調色時間 | D. 準備時間 | E. 調色時間と準備時間 |
| F. 取り外し | G. 取り付け | H. 塗膜加算 | I. 加算基礎数値 | |

問5 次の説明文のなかで、間違っているものを一つ選び、記号で答えなさい。

31. 脱着・取替指数に関する説明文で、間違っているものを選びなさい。

- A. 付帯作業とは、主体作業に含まれる作業のことである。
- B. 付随作業とは、主体作業には含まれない作業のことである。
- C. 指数テーブルにおける[取外し状態]には、該当作業をするために必要となる作業が漏れなく記述されている。
- D. 指数テーブルにおける[除]に記載の作業は、関連作業に注意しながら別途見積り計上する。

| |
|-----|
| 解答欄 |
| |

32. 補修塗装指数における用語の説明文で、間違っているものを選びなさい。

- A. 補修塗装指数における「修正パネル」とは、钣金修正作業終了後に行う下処理作業や損傷部を中心とした表面だけの補修塗装を完成させる作業を指す。
- B. 補修塗装指数における「単体塗り」とは、ほかに塗装する外板がない場合を指す。
- C. 補修塗装指数における「複数塗り」とは、補修塗装部位が連続している他の外板と同時に作業を行う場合を指す。
- D. 補修塗装指数における「1/1」とは、ソリッド塗装で作業した場合の塗装範囲が対象パネル面積の1/1程度となるものを指す。

| |
|-----|
| 解答欄 |
| |

33. 塗り数値についての説明文で、間違っているものを選びなさい。

- A. 塗り数値は、速乾ウレタン塗料または水性塗料を用いて外板をソリッド塗装する場合の作業をベースに作成されている。
- B. 塗り数値は、パネル表面のみで、裏面や隠れた部位などの補修塗装を完成する作業は含まれていない。
- C. 塗り数値の単体塗りは、他に塗装する外板がない場合に適用するものである。
- D. 塗り数値の複数塗りは、補修塗装部位が連続している他の外板と同時に作業を行う場合に適用するものである。

| |
|-----|
| 解答欄 |
| |

問6 次の説明文のなかで、正しいものを一つ選び、記号で答えなさい。

34. 指数に関する説明文で、正しいものを選びなさい。

- A. 指数テーブルマニュアルは指数および指数テーブルの使用方を正しく理解するためのマニュアルである。
- B. 基表方式とは、全国の修理工場で行われた実作業時間を集計して作業時間を導き出す方法のことである。
- C. 指数を作成する際には、すべての車種において実作業時間を計測している。
- D. 指数テーブルは修理工場が行うすべての修理作業について網羅されている。

| |
|-----|
| 解答欄 |
| |

35. 指数テーブルマニュアルに関する説明文で、正しいものを選びなさい。

- A. 指数テーブルマニュアルは損害保険料率算出機構が作成している。
- B. 指数テーブルマニュアルは毎年発行されているが、一切改訂はされない。
- C. 2013年10月の改訂版より、指数策定的前提条件がより詳しく記載されている。
- D. 指数テーブルマニュアルには外板板金修正指数および内板骨格修正指数に関する記述はない。

| |
|-----|
| 解答欄 |
| |

36. 指数作成の前提条件で、作業に関する記述において、正しいものを選びなさい。

- A. 板金・修理作業は実務経験3年程度の者。補修塗装作業は実務経験3年程度の者。
- B. 板金・修理作業は実務経験5年程度の者。補修塗装作業は実務経験5年程度の者。
- C. 板金・修理作業は実務経験3年程度の者。補修塗装作業は実務経験5年程度の者。
- D. 板金・修理作業は実務経験5年程度の者。補修塗装作業は実務経験3年程度の者。

| |
|-----|
| 解答欄 |
| |

37. 補修塗装指数の付加数値であるボデーシーリングの具体例または適用範囲として、正しいものを選びなさい。

- A. フロントサイドメンバーとダッシュパネルとの溶接接合部など、アンダーコート塗布後では塗布できない部位。
- B. リヤフロア取替時のサイレンサシート貼付部など、サイレンサシート貼付後では塗布できない部位。
- C. 内板骨格パネルの修正部。
- D. ボンネット、ドアなどのヘミング修正部。

| |
|-----|
| 解答欄 |
| |

38. 補修塗装指数についての説明文で、正しいものを選びなさい。

- A. ぼかし塗装に関する作業分は、加算基礎数値に含まれている。
- B. 塗装ブースの減価償却費および光熱費等は、補修塗装指数に含まれている。
- C. 調色時間、準備時間は、塗り数値に含まれている。
- D. 材料代は、補修塗装指数に含まれている。

| |
|-----|
| 解答欄 |
| |

39. 補修塗装指数についての説明文で、正しいものを選びなさい。

- A. 低隠ぺい性塗色とは、トマリのいい塗色のことである。
- B. あるカラーコードが低隠ぺい性塗色であれば、どの塗料メーカーでも同じく低隠ぺい性塗色として扱われている。
- C. 低隠ぺい性塗色であるかどうかは、アジャスターが使う見積りシステムで判断する。
- D. 低隠ぺい性塗色の割り増しは、パネルごとの数値と加算数値から成り立つ。

| |
|-----|
| 解答欄 |
| |

40. 外板板金修正指数についての説明文で、正しいものを選びなさい。

- A. 外板板金修正指数の前提条件として、対象車両となるのは一般的な乗用車のみで、RV や 1BOX 車は含まれない。
- B. 外板板金修正指数の前提条件として、対象車両となるのはアルミやステンレスなど特殊な材質も含まれる。
- C. 外板板金修正指数の前提条件として、仕上げ面は塗装工程に入り、ポリパテ 1 回仕上げでプラサフ塗装できるレベルを指す。
- D. 外板板金修正指数には、作業に必要なボンネットインシュレータやトリム類などの付属品脱着作業時間が含まれている。

| |
|-----|
| 解答欄 |
| |

41. 内板骨格修正指数についての説明文で、正しいものを選びなさい。

- A. 内板骨格修正指数の前提条件として、対象車両はモノコック構造の軽自動車を含んだ国産乗用車およびRVを指す。
- B. 内板骨格修正指数の前提条件として、フレーム修正機に損傷車両を4点以上で固定することと定めている。
- C. 内板骨格修正指数の前提条件として、作業工程は車両の事前計測から引き具取り外しまで定められ、マウント・ディスマウントは含まれない。
- D. 内板骨格修正指数の前提条件として、作業者は内板・骨格修正作業経験5年程度の者としている。

解答欄

42. 内板骨格修正指数についての説明文で、正しいものを選びなさい。

- A. 1BOX車であっても、ミニバンと呼ばれるボンネットタイプの1BOX車は対象となる。
- B. 形状修正指数は、マウント・ディスマウント、事前計測、引き具取り付けおよび取り外し、骨格系寸法復元の4項目から構成され、指数値は一律3.5である。
- C. 近年増えてきている、サイドメンバーがクロスメンバーより前方に出ている車種は対象となる。
- D. 形状修正指数は単独で使用することもできる。

解答欄

問7 外板板金修正指数の算定方法について述べた文章の()内に当てはまる言葉を下から選び、記号で答えなさい。

面積算定の方法

1. (43) を境とする損傷部に輪郭線を引き面積を算定する。

注) (43) とは目視できる (44) の輪郭線とする。

2. 面積算定時の留意事項

- ・面積算定範囲は変形や (45) を確認し判断する。
- ・損傷程度の大きいものには見かけ上の損傷範囲より面積算定範囲の方が (46) のものもある。
- ・実際の修正作業面積を算定しないようにする。

| | | | |
|----|----|----|----|
| 43 | 44 | 45 | 46 |
|----|----|----|----|

- A. 稜線 B. 放物線 C. 狭い D. 広い
E. 張り剛性 F. 張り弾性 G. 一番内側 H. 一番外側

問8 以下の文章は、指数テーブルマニュアルのまえがきを抜粋したものです。()内に当てはまる言葉を下から選び、記号で答えなさい。

1. 「外板板金修正指数」、「(47) 指数」については (48) となっておりますので、本書記載の「(48) 編・指数テーブル」で使用方法をご確認いただき、ご使用ください。
2. なお、指数は (49) であり、作業項目に記載された作業範囲、修理方法・手順などは、指数の前提条件として記載しているもので、作業方法などを指定あるいは強制するもの (50)。

| | | | |
|----|----|----|----|
| 47 | 48 | 49 | 50 |
|----|----|----|----|

- | | | | |
|---------|-----------|------------|---------|
| A. 補修塗装 | B. 内板骨格修正 | C. 車種別 | D. 車種共通 |
| E. 参考資料 | F. ルール | G. ではありません | H. です |